

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本自動車大学校袖ヶ浦校
設置者名	学校法人 日栄学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
自動車産業 専門課程	2級自動車整備科	夜・通信	1120	160	
	自動車車体整備科	夜・通信	914	80	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本自動車大学校袖ヶ浦校
設置者名	学校法人 日栄学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/other/joho

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職：株式会社 相談役 前職：株式会社 役員	2025.5.17 ～ 2029.5.16	会社経営の経験と自動車業界に関する幅広い見識から、外部理事として学校法人の組織運営体制へのチェック機能を期待している
非常勤	現職：株式会社 役員	2025.5.17 ～ 2029.5.16	会社経営の経験と自動車業界に関する幅広い見識から、外部理事として学校法人の組織運営体制へのチェック機能を期待している
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日本自動車大学校袖ヶ浦校
設置者名	学校法人 日栄学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>					
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>2級自動車整備科の1, 2年次並びに自動車車体整備科の授業計画書については、国家資格である二級自動車整備士及び自動車車体整備士を養成する一種養成施設の認可基準に則り作成している。また、当校の建学の精神、教育方針に則り、到達目標として高度な技術力と共に将来企業の幹部人材となり、業界の発展と社会への奉仕貢献する人材を養成するものである。</p> <p>授業計画書の作成については、学則に規定された「教育課程編成委員会」の意見を参考に、学校長並びに教職員等で構成される「カリキュラム編成委員会」で授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準などを策定し理事会で決定される。</p> <p>年度毎の具体的な授業計画書及び各授業のスケジュールは、前年度3月の理事会で承認を経て決定され公表される。</p>					
授業計画書の公表方法	<p>授業計画書(シラバス): ホームページにて公開</p> <p>https://www.nats-s.ac.jp/joho/</p>				
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>					
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果及び教育の評価は、平常評価、平常試験、学期末試験、卒業試験にて行い、その試験の方法は学科目では筆記試験を、実習科目については実技試験を原則とし、場合によっては筆記試験、口答試験、研究調査物などのレポートによってこれにかえることで行う。</p> <p>これらの評価は次の四段階に分けて評価し、可以上をもって履修認定する。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>優(100点~90点)</td> <td>良(89点~70点)</td> </tr> <tr> <td>可(69点~60点)</td> <td>不可(59点以下)</td> </tr> </table> <p>また、学期末試験、卒業試験は、出席率が国土交通省指定学科については、90%以上、その他の学科目については85%以上、実習科目は90%以上でなければ受験することができない。</p> <p>尚、上記の出席率に満たない場合は、学則の規定に則り出席率が満たされる時間数の補習授業を受講し、欠席時間を補った上で各試験を受験するものとする。</p>		優(100点~90点)	良(89点~70点)	可(69点~60点)	不可(59点以下)
優(100点~90点)	良(89点~70点)				
可(69点~60点)	不可(59点以下)				

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価に於けるGPA等の客観的な指標として、授業科目毎に評価される「優」, 「良」, 「可」, 「不可」の各評価を得点化している。 具体的には、 「優」・・・50点 「良」・・・30点 「可」・・・10点 「不可」・・・0点 とし、これらの合計点で各学生が所属する学科の中で、どの位置にあるかを把握する。</p> <p>尚、学科により評価が「合否」のみを決定する科目については、当該の得点化する科目に含まない。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に際しては、各学科において下記の力を身につけたものを認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2級自動車整備科 二級自動車整備士相当の技術力を有し、整備の現場において即戦力としての実力を有すること ・自動車車体整備科 二級自動車整備士相当の技術力を背景に、钣金、塗装技術者である自動車車体整備士相当の実力を有すること。 <p>卒業認定は、各学科の授業科目の評価が全て「可」以上の成績を修めた者に対して、各学科の上記の基準に達したと判断し、学校長が認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校日本自動車大学校袖ヶ浦校
設置者名	学校法人 日栄学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nats-s.ac.jp/joho/ 並びに閲覧
収支計算書又は損益計算書	https://www.nats-s.ac.jp/joho/ 並びに閲覧
財産目録	https://www.nats-s.ac.jp/joho/ 並びに閲覧
事業報告書	https://www.nats-s.ac.jp/joho/ 並びに閲覧
監事による監査報告(書)	https://www.nats-s.ac.jp/joho/ 並びに閲覧

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車産業 専門課程	2級自動車整備科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2264 単位時間/単位	836 単位時間/ /単位	単位時間 /単位	1428 単位時間/ /単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		108人	26人	6人	1人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>カリキュラムは、国家資格である二級自動車整備士を養成する一種養成施設の認可基準に基づき、当校の建学の精神、教育方針に沿い、学修目標への到達を図るため策定する。授業計画書については、学則に規定された「教育課程編成委員会」の意見を参考に、学校長並びに教職員等で構成される「カリキュラム編成委員会」で授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準などを策定し理事会で決定される。</p> <p>年度毎の具体的な授業計画書及び各授業のスケジュールは、前年度3月の理事会で承認を経て決定され公表される。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学修成果及び教育の評価は、平常評価、平常試験、学期末試験、卒業試験にて行い、その試験の方法は学科目では筆記試験を、実習科目については実技試験を原則とし、場合によっては筆記試験、口答試験、研究調査物などのレポートによってこれにかえることで行う。</p> <p>これらの評価は次の四段階に分けて評価し、可以上をもって履修認定する。</p> <p>優 (100点～90点) 良 (89点～70点)</p> <p>可 (69点～60点) 不可 (59点以下)</p> <p>また、学期末試験、卒業試験は、出席率が国土交通省指定学科については、90%以上、その他の学科目については85%以上、実習科目は90%以上でなければ受験することができない。</p> <p>尚、上記の出席率に満たない場合は、学則の規定に則り出席率が満たされる時間数の補習授業を受講し、欠席時間を補った上で各試験を受験するものとする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業及び進級の認定は、学科目及び実習科目の全てが「可」以上の成績を修めた者に対し、学校長が認定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級運営及び学生指導に対し担任制を導入し、学生の修学及び生活上の諸問題に対応できるよう配慮している。 ・効果的な知識・技術習得のために授業ごとの導入教育を実施すると共に、試験不合格者・成績不良者への補講実施並びに追試験実施により確実な習得を見極めている。 ・資格試験合格のための特別講習を実施している。 ・各種セミナーや一般教養授業による人間性向上と幅広い知識の習得を図る。 ・課外活動を通じてコミュニケーション能力の向上を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	20人 (45%)	21人 (48%)	3人 (7%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>自動車整備業界（自動車ディーラー、自動車整備専門工場）</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>社会人として必要な知識、マナー、行動や意識の啓発。 個々の学生に対し、個人面談、進路相談、企業説明会の開催、就職企業の斡旋から就職内定に至るまでの一連の指導を実施。また、内定後も企業と連携をとり入社するまでの就職指導をフォローする。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>ガス溶接技能講習修了書、アーク溶接業務得別教育修了書、電気自動車の整備等に係る特別教育修了証、損害保険募集人一般試験基礎単位、損害保険募集人一般試験自動車保険単位、ソーシャル検定中級、二級自動車整備士（総合）</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p> <p>進級者20名の内訳は、袖ヶ浦校自動車車体整備科に15名、成田校自動車研究科に5名が内部進級したものである。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	5人	5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>修学不良、健康上の問題（精神的不安定）</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任制により個人面談及び家庭への綿密な連絡による相談を実施し、早期対応を心がけている。学習面に於いては、放課等を活用しての補講や補習などを開催し、学力不足による学習意欲低下を防止するサポートを実施している。</p>		

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車産業 専門課程	自動車車体整備科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1188 単位時間/単位	356 単位時間/ /単位	単位時間/ /単位	832 単位時間/ /単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		14人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>カリキュラムは、国家資格である自動車車体整備士を養成する一種養成施設の認可基準に基づき、当校の建学の精神、教育方針に沿い、学修目標への到達を図るため策定する。授業計画書については、学則に規定された「教育課程編成委員会」の意見を参考に、学校長並びに教職員等で構成される「カリキュラム編成委員会」で授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準などを策定し理事会で決定される。</p> <p>年度毎の具体的な授業計画書及び各授業のスケジュールは、前年度3月の理事会で承認を経て決定され公表される。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学修成果及び教育の評価は、平常評価、平常試験、学期末試験、卒業試験にて行い、その試験の方法は学科目では筆記試験を、実習科目については実技試験を原則とし、場合によっては筆記試験、口答試験、研究調査物などのレポートによってこれにかえることで行う。</p> <p>これらの評価は次の四段階に分けて評価し、可以上をもって履修認定する。</p> <p>優 (100点～90点) 良 (89点～70点)</p> <p>可 (69点～60点) 不可 (59点以下)</p> <p>また、学期末試験、卒業試験は、出席率が国土交通省指定学科については、90%以上、その他の学科目については85%以上、実習科目は90%以上でなければ受験することができない。</p> <p>尚、上記の出席率に満たない場合は、学則の規定に則り出席率が満たされる時間数の補習授業を受講し、欠席時間を補った上で各試験を受験するものとする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業及び進級の認定は、学科目及び実習科目の全てが「可」以上の成績を修めた者に対し、学校長が認定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級運営及び学生指導に対し担任制を導入し、学生の修学及び生活上の諸問題に対応できるよう配慮している。 ・効果的な知識・技術習得のために授業ごとの導入教育を実施すると共に、試験不合格者・成績不良者への補講実施並びに追試験実施により確実な習得を見極めている。 ・資格試験合格のための特別講習を実施している。 ・各種セミナーや一般教養授業による人間性向上と幅広い知識の習得を図る。 ・課外活動を通じてコミュニケーション能力の向上を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 自動車整備業界（自動車ディーラー、自動車整備専門工場）			
(就職指導内容) 社会人として必要な知識、マナー、行動や意識の啓発。 個々の学生に対し、個人面談、進路相談、企業説明会の開催、就職企業の斡旋から就職内定に至るまでの一連の指導を実施。また、内定後も企業と連携をとり入社するまでの就職指導をフォローする。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 有機溶剤作業主任者修了書、二級2輪自動車整備士（希望者）、自動車車体整備士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	2人	14%
(中途退学の主な理由) 修学不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制により個人面談及び家庭への綿密な連絡による相談を実施し、早期対応を心がけている。学習面に於いては、放課等を活用しての補講や補習などを開催し、学力不足による学習意欲低下を防止するサポートを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
2級自動車整備科	300,000円	490,000円	490,000円	その他=実験実習費+教育施設費
自動車車体整備科	300,000円	670,000円	680,000円	その他=実験実習費+教育施設費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 企業や卒業生、地域住民等が参画した学校関係者評価委員会を設置し、学校評価ガイドラインに沿って行う自己点検評価をベースに、教育活動を始め学校運営に関する取り組みや改善方法を評価検証し、教育活動全般の質的向上を図る事を基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
自動車関連企業	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生就職先企業
地域住民	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	地域住民
高等学校	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	教育関係者 (在校生出身高等学校)
在校生保護者	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	在校生保護者
卒業生	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/		
第三者による学校評価(任意記載事項) 学校関係者評価委員の任期は2年間で、2年ごとに委員を選任(再認可)し、継続して学校関係者評価を実施する。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ https://www.nats-s.ac.jp/joho/

学校整理番号(2001)